

第五次美浜町総合振興計画では SDGs を推進します

SDGs とは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015 年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を目指すため 2030 年までに達成すべき 17 の目標で構成されています。第五次美浜町総合振興計画(後期基本計画) では、新たに SDGs の視点を取り入れることとし、各施策が SDGs のさまざまな目標に結びついていることを示すため、17 の目標のアイコンを使って表示しています。

6 つの基本目標

1. 未来をひらき人と文化を育む まち

住民がさまざまな機会を通じて、まちづくりの根幹となる地域や次代を担う人材の育成を進め、豊かな人間性と社会性、郷土への誇りと愛着心を育み、未来をひらく人・まちづくりを目指します。



2. 健やかでぬくもりのある まち

誰もが安心して暮らせる健康・福祉のさらなる推進と、地域住民が「助け合い」、「支え合い」ながら、健やかでぬくもりのあるまちづくりを目指します。



3. 活気とにぎわいのある まち

地域の特性を生かし、農林水産業や観光・商工業をはじめ、さまざまな分野が連携を深めながら、活気とにぎわいのあるまちづくりを目指します。



4. 豊かな自然環境と心安らぐ まち

豊かな自然環境の保全・活用と、環境負荷の低い持続可能な循環型社会の実現に努め、誰もが心安らぐまちづくりを目指します。



5. 快適で安全安心な まち

さまざまな災害から住民の生命と財産を守るため、防災・防犯体制の充実を図るとともに、快適な生活環境を創造し、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。



6. みんなで築く協働の まち

さまざまな分野において、住民と行政が情報と価値観を共有し、役割分担を明確にするとともに、課題や問題の解決に向けて、みんなで築く協働のまちづくりを目指します。



後期基本計画

(6 つの基本目標を達成するための具体的な施策)

【教育・文化】

- 1 生涯学習の推進
- 2 学校教育の充実
- 3 社会教育の充実
- 4 生涯スポーツの推進
- 5 町民文化の創造
- 6 歴史文化の継承

【保健・福祉・医療】

- 1 地域福祉の推進
- 2 児童福祉の充実
- 3 高齢者福祉の充実
- 4 障がい者(児)福祉の充実
- 5 健康づくりの啓発と推進
- 6 地域医療対策の推進
- 7 医療保険事業の適正な運営

【産業・雇用】

- 1 農業の振興
- 2 林業の振興
- 3 水産業の振興
- 4 商工業の振興
- 5 観光の振興
- 6 産業振興によるにぎわい創出
- 7 エネルギー施策と地域振興

【環境・都市計画】

- 1 自然環境の保全・創造
- 2 調和のとれた都市計画の推進

【都市基盤・防災・交通安全】

- 1 道路・交通体系の確立
- 2 水道・下水道の整備
- 3 町土保全対策の推進
- 4 定住・空き家対策の推進
- 5 快適な生活環境の推進
- 6 消費者保護対策の推進
- 7 交通安全・防犯対策の推進
- 8 防災体制の充実
- 9 原子力安全確保対策の推進

【人権・地域コミュニティ・行財政運営】

- 1 人権尊重への取り組み
- 2 男女共同参画社会のさらなる推進
- 3 国際交流社会の推進
- 4 地域情報化社会の推進
- 5 みんなで築くまちづくりの推進
- 6 健全な行財政運営の推進
- 7 広域的な連携

まちの将来像に向けて横断的に取り組む

第五次美浜町総合振興計画 後期基本計画を策定

美浜町総合振興計画とは

美浜町総合振興計画は、本町におけるまちづくりの指針となる最上位計画であり、町の目指すべき方向性を示すとともに、さまざまな課題を計画性と戦略性をもって進めるためのものです。

町では「第五次美浜町総合振興計画」を平成28年度から令和7年度までの10カ年計画として策定しています。

後期基本計画の策定

このたび、前期基本計画が令和2年度末で終了することから、本町を取り巻く情勢の変化や多様な町民ニーズ等に対応するため、令和3年度を初年度とする後期基本計画を策定しました。

計画の策定体制

計画の策定にあたっては、各種団体等の代表や町議会議員で構成される審議会、町職員で構成する策定委員会、町民と町職員で構成される各専門分野に分かれて施策を検討する検討会議にて内容を検討し、審議会でとりまとめられた原案を、本年1月26日に戸嶋町長に答申し、これを受けて町が策定しました。

美浜町総合振興計画の構成

基本構想(10ヶ年計画、平成28年度策定)

①基本理念 ②まちの将来像 ③6つの基本目標

基本計画(5ヶ年計画、今回策定)

施策を分野別に体系化、目標指標の設定

実施計画(3ヶ年計画)

具体的な事務事業計画、財源 ※毎年度進捗管理



↑計画を答申する山口治和会長(右)

基本理念

創 絆 集

活力ある「ひと」を育て、人材をつくり、地域をつくり、活気あふれるまちづくりを目指します。

「ひと」がつながり、地域がつながることによって絆が深まり、地域の伝統・文化・自然を次の世代へとつなげるまちづくりを目指します。

さまざまな交流・体験を通じて、人々が出会い、交流が生まれ、輪を広げ、「ひと」が集えるにぎわいのあるまちづくりを目指します。

目指すべきまちの将来像

みんなで ^{つく}創り ^{つな}絆ぎ ^{つど}集う
うま 美し美浜

キーワードその3 北陸新幹線敦賀開業

北陸新幹線敦賀開業に向け、地域の観光資源の魅力向上ならびに情報発信の強化による観光振興を図ります。また、二次交通を充実させ観光誘客を図ることにより、新幹線開業の効果を地域に波及させます。

主な施策

◆観光施設の整備と地域資源の掘り起こし
◆国内外の誘客プロモーション活動の推進
◆美しい自然環境の保全

◆主要幹線道路の整備
◆公共交通ネットワークの維持・最適化

成果指標

●観光入込客数（年間）

（基準値）
932,717 人

➡

（R7 目標値）
1,350,000 人

キーワードその4 地域力向上

近年、全国各地において異常気象を伴う自然災害や地震等による災害が発生しています。人口減少や少子高齢化社会に対応した保健、福祉、医療等の体制・機能の充実が求められる一方、集落の担い手不足や管理不全の空き家が住環境の悪化を招く等、地域の課題が山積しています。災害に強い都市基盤をつくとともに、地域力を高める取り組み等を推進することで、町民が安全に、安心して暮らせる町を目指します。

主な施策

◆地域ケアマネジメント体制の充実
◆子育てを支援する体制の充実
◆多様な介護予防と生きがい活動の推進
◆町民の健康づくりを支える体制づくり
◆住民ニーズを反映した水道事業の整備

◆災害に強いまちづくりの推進
◆特定空き家等対策の推進
◆地域防災力の向上
◆地域コミュニティの充実
◆広域連携の推進

成果指標

●自主防災組織数（累計）

（基準値）
19 集落

➡

（R7 目標値）
37 集落

●福祉委員会設置数

28 集落

➡

37 集落

●集落元気プラン策定数（累計）

10 集落

➡

37 集落

キーワードその5 人口減少対策

出生数の減少や若年層を中心とした人口流出により、将来的に本町の人口は大幅に減少すると予想されています。移住定住の促進や雇用の創出と創業支援、子育て環境の整備とあわせて、町民一人ひとりが生きいきと暮らせる住みよいまちづくりを進めることにより、若者層の人口流出抑制やUIJ ターンの促進を図ります。

主な施策

◆学校教育環境の整備・充実
◆地域ケアマネジメント体制の充実
◆子育てを支援する体制の充実
◆町民の健康づくりを支える体制づくり
◆地域を支える人創り
◆観光施設の整備と地域資源の掘り起こし
◆企業誘致の推進
◆新たなにぎわいの創出
◆主要幹線道路の整備

◆公共交通ネットワークの維持・最適化
◆若者の定住化促進
◆空き家対策と住環境整備の推進
◆地域防災力の向上
◆推進体制の整備と方向性の確立
◆ICT を利活用した施策展開
◆地域コミュニティの充実
◆住民活動を補完する体制づくり

成果指標

●美浜町の人口

（基準値）
9,173 人

➡

（R7 目標値）
8,832 人

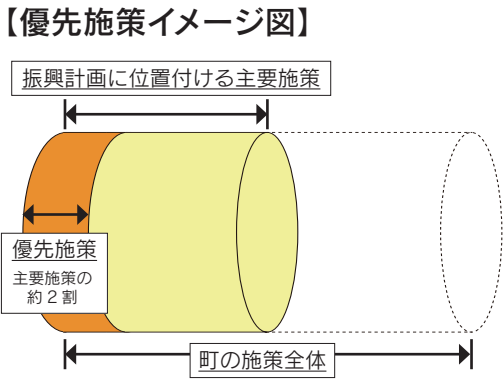
※お問い合わせ先 町まちづくり推進課（担当・浅妻） ☎32-6701

5つのキーワードを優先施策に位置付け

人口減少や少子高齢化が進行する中、5年後の望ましい未来を見据えたまちづくりに取り組むには、優先順位を見極め、限りある行政資源を集中させながら、効率的・効果的に施策の実現を図ることが必要です。後期基本計画では、重要な5つのキーワードのもとに施策を整理し、横断的に取り組むとともに、その情報を住民と共有し、住民との協働により「みんなで創り 絆ぎ 集う 美し美浜」の実現を目指します。

キーワードは、「**情報化社会の推進**」「**にぎわいゾーン整備**」「**北陸新幹線敦賀開業**」「**地域力向上**」「**人口減少対策**」です。

これらのキーワードに深く関わる事業で、社会ニーズや緊急性、事業効果等、中長期的な観点から後期5年間に於いて計画的に取り組むことが必要な施策を「優先施策」として位置付けています。



キーワードその1 情報化社会の推進

人口減少や少子高齢化の進展する中、IoT で全ての人とモノがつながり、さまざまな知識や情報を共有することにより、新たな価値の創出が可能となります。ICT 基盤を整備し、すべての町民がICT の恩恵を受けることができる環境をつくとともに、ICT 基盤を活用した新しい生活様式や新たな働き方に係る施策を取り入れることにより、地域課題の解決と地域経済の発展とを両立させる仕組みの構築を目指します。

主な施策

◆学校教育環境の整備・充実
◆企業誘致の推進

◆推進体制の整備と方向性の確立
◆ICT を利活用した施策展開

成果指標

●アクションプラン達成率（累計）

（基準値）
－

➡

（R7 目標値）
70%

キーワードその2 にぎわいゾーン整備

地域づくり拠点化施設（道の駅）を核とし、JR 美浜駅から生涯学習センターなびあすまでの間について、利便性と快適性を兼ね備えたにぎわいと交流を創出するとともに、歩いて楽しめるまちなか空間をデザインし、まちの回遊性を高めます。また、IoT 等の先端技術を用い、交通や再生可能エネルギーの活用等、町民の利便性向上につながるサービスを創出します。

主な施策

◆文化施設の活用
◆地域を支える人創り
◆企業誘致の推進
◆新たなにぎわいの創出

◆再生可能エネルギーを活用したまちづくりの推進
◆主要幹線道路の整備
◆公共交通ネットワークの維持・最適化

成果指標

●地域づくり拠点化施設（道の駅）入込数

（基準値）
－

➡

（R7 目標値）
50 万人

転入・転出の状況

◆転入・転出ともに県外が多くなっているほか、若者・子育て世代の近隣市町への転出が多くなっており、特に敦賀市への転出が顕著です。

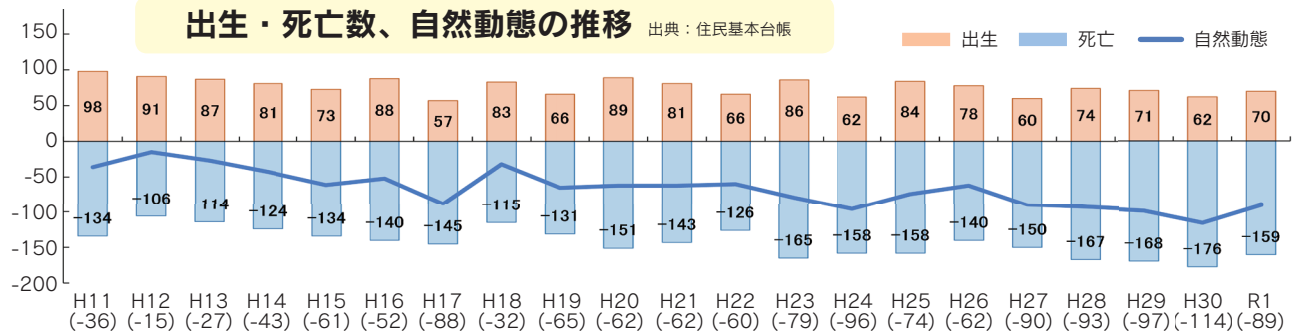
人口移動の状況

出典：国勢調査(平成27年)



出生・死亡の状況

◆出生数は減少傾向、死亡数は増加傾向にあります。また、自然動態(出生数-死亡数)のマイナス幅が拡大しています。



健康寿命の推移

出典：介護度を用いて県健康政策課が作成

◆本町の健康寿命は延びてきていますが、県平均と比べると低く、平成30年には男女ともに県内14位となっています。

	男		女	
	福井県	美浜町	福井県	美浜町
平成18年(2006年)	77.86	76.75(13位)	82.84	83.50(5位)
平成30年(2018年)	79.40	78.74(14位)	83.74	83.18(14位)

人口減少の状況から課題を整理

課題と施策推進の方向性

◆人口の推移や転入・転出、出生・死亡等の状況を鑑み、町が抱える人口減少対策への課題及び進めるべき施策の方向性を右図のような形で整理しました。

課題

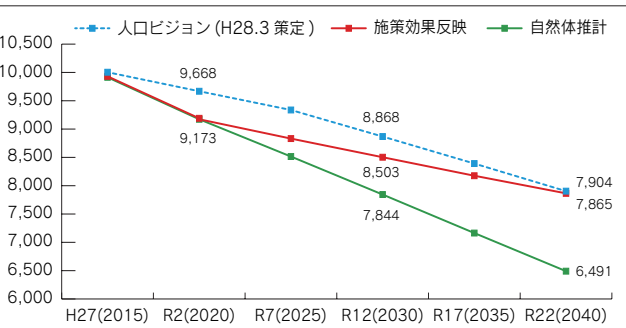
施策推進の方向性

- 若者世代の減少・近隣市町への流出
若者(特に女性)の転入促進・転出抑制
- 子育て世代の流出と出生数の減少
子育て世代の転入促進・転出抑制、出生数増
- 健康寿命の停滞
健康寿命の延伸

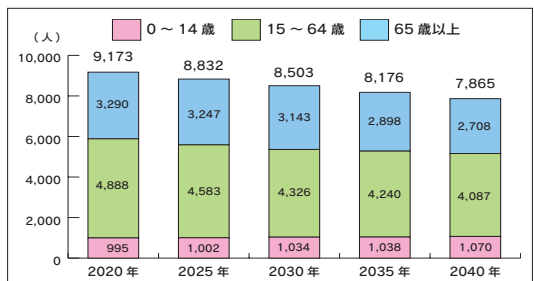
目標人口

◆町では、上記施策の効果を反映させた人口シミュレーションを行いました。シミュレーション結果に基づき、施策を推進していくことで当初策定した人口ビジョン(平成28年3月策定)と同水準の人口を維持できると判断しました。

【施策推進効果を反映した人口シミュレーション】



2040年7,900人を維持



↑計画を手渡す河合政志会長(右)

第2期総合戦略の策定にあたっては、子育て世代の女性や産業界、教育関係、金融機関、労働関係、メディア等、幅広い分野の委員で構成された「美浜創生総合戦略会議」にて検討を進め、本年2月17日に戸嶋町長に策定を報告しました。

第2期総合戦略の策定にあたっては、子育て世代の女性や産業界、教育関係、金融機関、労働関係、メディア等、幅広い分野の委員で構成された「美浜創生総合戦略会議」にて検討を進め、本年2月17日に戸嶋町長に策定を報告しました。

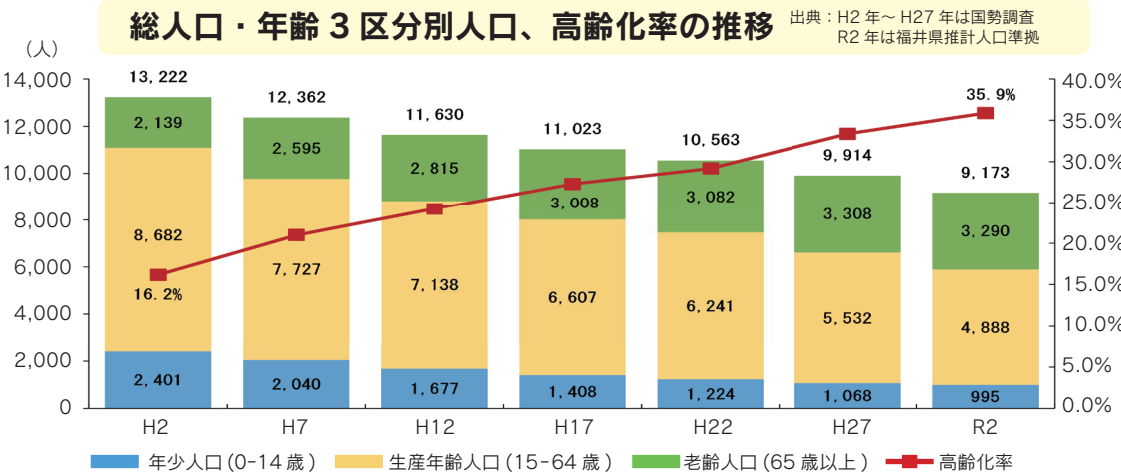
美浜町人口ビジョンは、町の人口減少について分析し、長期的な人口の将来展望等を取りまとめたもので、美浜創生総合戦略は、人口ビジョンの分析や推計を基に、町の人口減少対策に向けた具体的な施策を取りまとめたものです。

美浜町人口ビジョン・美浜創生総合戦略とは

美浜町人口ビジョン(改訂版)

人口の推移

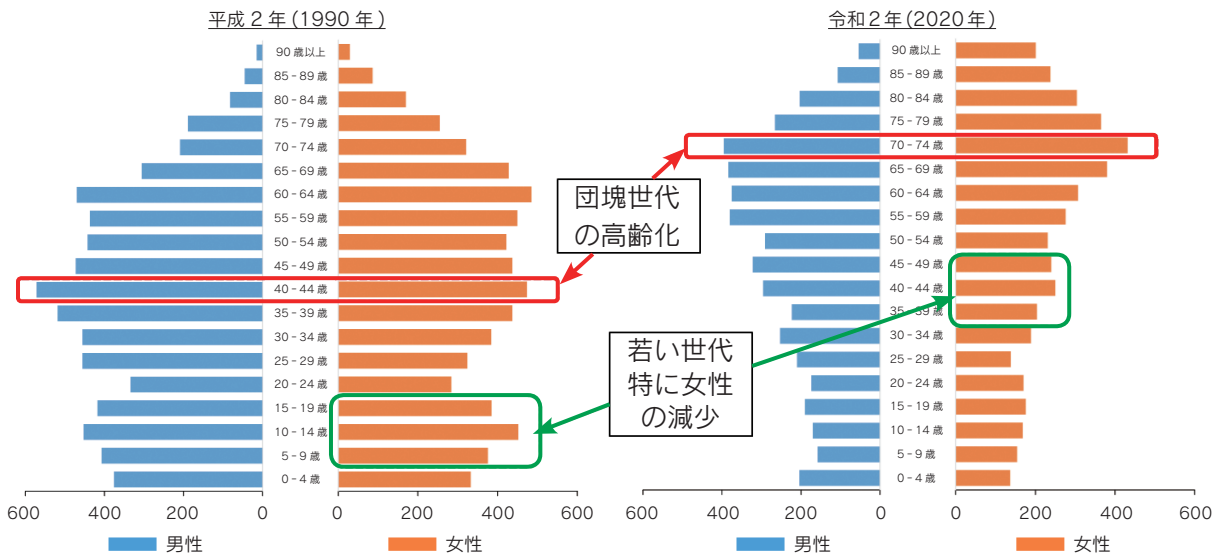
◆総人口は減少が続く一方、高齢化率は上昇しており、令和2年時点では3人に1人が高齢者となっています。



◆この30年間で「団塊の世代」が高齢者となり、若い世代では特に女性が大きく減少しています。

総人口・年齢3区分別人口、高齢化率の推移

出典：平成2年は国勢調査、令和2年は福井県推計人口準拠



基本目標3 希望を叶える“結婚・出産・子育て”を応援

数値目標 【年少人口】

(基準値) (R7目標値)
 989人 → 1,000人

関連するSDGs



1. 新たな出会いの場創出とライフデザインの意識向上

◆広域的な出会いの場創出とライフデザイン支援

2. 子育て環境の充実

- ◆子ども・子育ての包括的・総合的支援
- ◆仕事と子育てが両立できる社会づくり

3. 教育環境の充実

◆地域と連携した教育とICT教育の推進

基本目標4 幸せを実感できる“暮らし”の充実

数値目標 【住みやすいと感じている割合】

(基準値) (R7目標値)
 76.0% → 80.0%

関連するSDGs



1. 若者・子育て世代に魅力ある住まいづくり

◆新たな居住環境整備と空き家の利活用促進

2. 安全・安心で快適な暮らしづくり

- ◆集落元気プランの策定と集落活動を促進
- ◆地域防災力の充実・強化
- ◆誰もが移動しやすい公共交通の整備
- ◆町民と共に進める環境整備
- ◆情報通信網の整備と情報発信の充実

3. 地域で支え合う福祉と健康の社会づくり

- ◆地域で支え合う体制づくりと高齢者の活躍の場を創出
- ◆「げんげん^{ぶらす}歩楽寿」の推進

※お問い合わせ先 町まちづくり推進課 (担当・伊藤) ☎32-6701

第2期美浜創生総合戦略【令和3年度～令和7年度】

第2期美浜創生総合戦略では、人口ビジョンに掲げる目標「2040年7,900人維持」を実現させるために、人口減少対策の視点と実現に向けた施策の方向性を定めています。

人口減少対策の視点

若者(特に女性)の
転入促進・転出抑制

交流人口・
関係人口の拡大

子育て世代の転入促進・
転出抑制、出生数増

健康寿命の延伸

基本目標1 若者・女性に魅力ある“しごと”の創出

数値目標 【20歳代の社会移動】

(基準値) (R7目標値)
 -14人 → ±0人

関連するSDGs



1. 若者・女性の新たなチャレンジを応援

- ◆創業支援と若者・女性がチャレンジできる場を創出
- ◆新規就農者の確保・育成
- ◆新規漁業就労者の確保・育成
- ◆観光産業の振興と後継者支援

2. 企業誘致の促進による働く場所の確保と新しい働き方の推進

- ◆産業団地への企業誘致と雇用確保
- ◆サテライトオフィス誘致とDX(※)の推進

※DXとは…
 デジタルトランスフォーメーション(デジタルによる変革)
 例)テレワーク等の新しい働き方を最大限に生かすための
 デジタル化改革

基本目標2 人との新たなつながりを築く“交流”の拡大

数値目標 【観光客入込客数】

(基準値) (R7目標値)
 931,717人 → 1,350,000人

関連するSDGs



1. 人との新たなつながりを構築

- ◆応援人口(関係人口)の創出・拡大と新たな交流の場を創出

2. 観光資源を活用した交流人口の拡大

- ◆新たな観光施設整備と観光資源の魅力アップ